

31H 上野 綺音 32H 岩井 怜 33H 山田 菜緒
 34H 堀端 七翔 35H 高山 裕太 36H 塩谷 大和

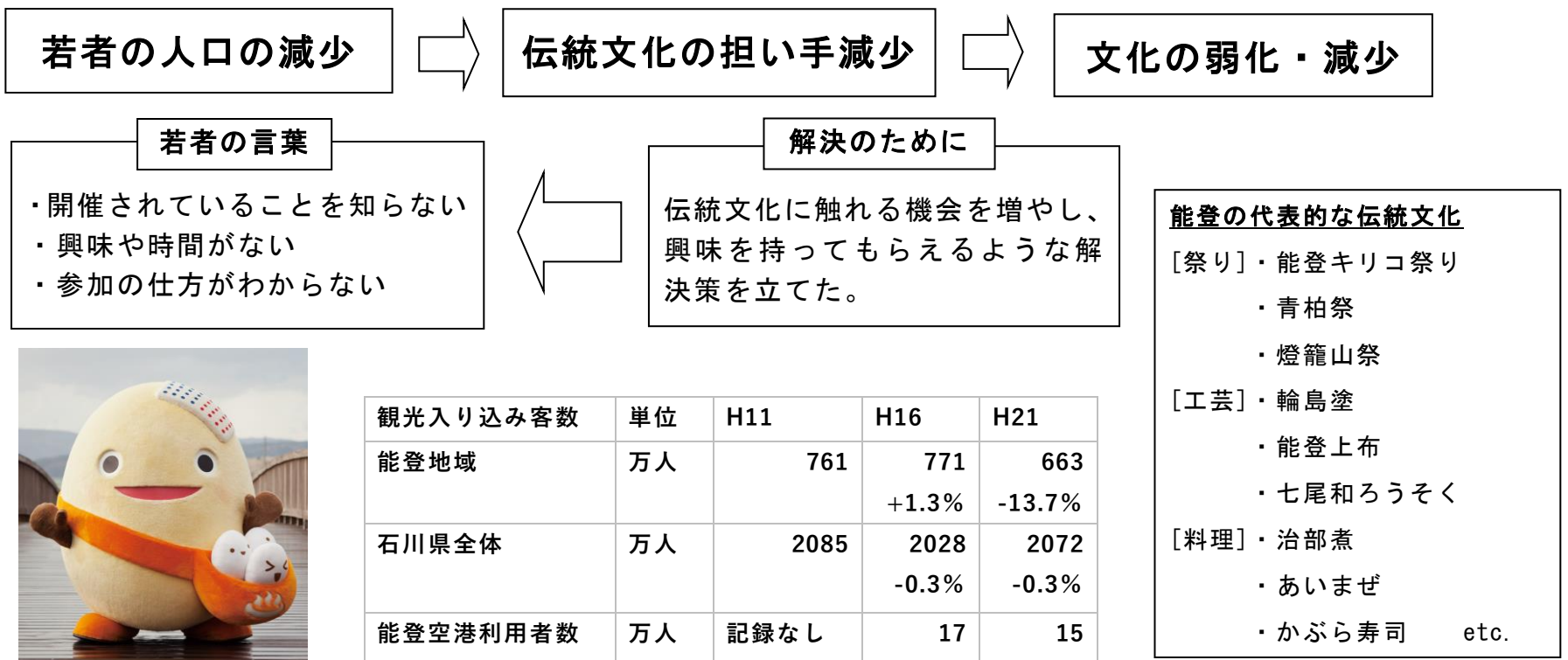
■課題

伝統文化に関わる若者の人口が減っている。

■解決策

- イベントを開いて伝統文化に触れる機会を作る。
- ・ 参与観察型のイベントの開催（非参与型に比べ、伝統との結びつきが強い）
 - ・ 若者が伝統文化に触れる機会を作る

■現状（課題の背景）



■具体的内容

小中学校などの行政機関と連携し学校と地域が一体となって若い世代を育てるイベントを開催
 ⇒若い世代の伝統文化に触れる機会作りが可能・参与観察型のイベントであるためより地域への関心が高まる

■効果

- 参与観察型のイベントから得られる効果**
- ・ 伝統文化を当人自身で再確認し、保全していく充実感を感じられる
 - ・ 外部からは見えにくい伝統文化の内部状況を把握し、危機感を持つことで継承意識が高まる
- 若者が伝統文化に触れる機会を作ることで得られる効果**
- ・ 未来を担う若者が地域の伝統文化に触れることで地域へ関心を持ち地域の活性化が図られる
 - ・ 地域の伝統文化や芸能を自らが体験することで、生まれ育った地域への愛着が芽生える
 - ・ 地域の魅力の一つとして受け継がれている伝統文化に若者が触れ親しむことは、世代を超えた交流ができる

■まとめ

参与観察型のイベントを開催し行事の一連の動きにメンバーとして参加することで、若者が伝統文化の危機感を再確認し保全していく充実感を感じられ継承意識を高めることができる。他にも若者が伝統文化に触れる機会を作ることで、地域への愛着が芽生え、伝統文化に関心を持つことで活性化にもつながると考えられるため、自分たちは対象に分けたプランを考え、それを各自治体に提供し、開催してもらったり、自主的に既存のイベントに参加したりしようと考えている。

■参考文献

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/img/resarch/okunoto/1st/data1-4.pdf>
<https://www.city.nagano.nagano.jp/uploaded/attachment/328948.pdf>
<https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/img/resarch/okunoto/1st/data1-4.pdf>
 05.pdf (u-tokai.ac.jp)